

看護学部／看護学科	職名	講師	氏名	吉田 静
-----------	----	----	----	------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

1998年から7年間、助産師として九州労災病院に勤務。2005年から1年間本学に臨時職員として勤務後、2007年本学に着任。2009年3月、福岡県立大学大学院修士課程修了、修士（看護学）。2021年3月、国際医療福祉大学大学院博士課程修了、博士（助産学）。

現在、子供の喪失経験を持つ者の悲嘆過程と提供されるケアや支援、また医療者の支援を主な研究分野としている。特に、子供の喪失経験を持つ人々へのケアやサポートの中心は「母親」にあり、「父親」は母親を支える役割を期待され、支援も等閑されやすい。そのためニーズを把握した上で子どもの喪失経験を持つ父親へ提供できるケアモデルを開発し、医療者の役割、課題等を明らかにする。また子どもを喪失した家族に携わる看護者へのケアや支援も検討している。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

- ・ 吉田静. (2021). 子どもを喪失した父親が看護者に求めるケアに関する研究. 国際医療福祉大学大学院博士論文, A4版, 全134頁.

### ②その他最近の業績

#### <学会発表>

- ・ 吉田静, 佐藤香代. (2022). 子どもを喪失した父親の体験と看護者に求めるケア. 第36回日本助産学会学術集会, 大阪 (オンライン)
- ・ 吉田静, 佐藤香代, 山下恵子, 藤木久美子. (2019). 「子どもを喪失した家族に携わる看護者の会」に参加した看護者の気持ちの変容. 第60回母性衛生学術集会, 千葉.
- ・ 藤木久美子, 佐藤香代, 江島峰子, 吉田静. (2019). 「身体感覚活性化マザークラス医療者セミナー」に参加した医療者の気づき. 第60回母性衛生学術集会, 千葉.
- ・ 安河内静子, 古田祐子, 鳥越郁代, 石村美由紀, 吉田静. (2019). 助産所での継続ケア実習が助産師としてのアイデンティティ形成に及ぼす要因. 第33回日本助産学会, 福岡.

### ③過去の主要業績

#### <教材開発>

- ・ 佐藤香代, 安河内静子, 吉田静, 佐藤繭子, 鳥越郁代, 小林絵里子, 藤木久美子. 身体感覚活性化 (世にも珍しい) マザークラスの哲学と実践. 2012年.
- ・ 吉田静, 佐藤香代. わが国における「おむつ」の起源. (2012). 第53回母性衛生学術集会, 福岡.
- ・ 吉田静. (2009). 子どもを喪失した父親の体験. 福岡県立大学大学院修士論文, A4版 全68頁.

### 3. 外部研究資金

### 4. 受賞

### 5. 所属学会

日本助産学会，日本母性衛生学会，日本死の臨床研究会

### 6. 担当授業科目

#### <学部>

女性看護学概論・1単位・2年・前期，女性看護学・2単位・2年・後期，女性看護学演習Ⅰ・1単位・3年・前期，女性看護学演習Ⅱ・1単位・3～4年・後期～前期，女性看護学実習・2単位・3～4年・後期～前期，専門看護学ゼミ・2単位・3年・通年，卒業研究・2単位・4年・通年

#### <大学院>

ウイメンズヘルスト論・1単位・1年・前期，ウイメンズヘルス演習・1単位・1年・後期，基礎助産学特論・2単位・1年・前期，基礎助産学演習・2単位・1年・通年，助産学特論・2単位・1年・前期，助産学演習・2単位・1年・後期，コミュニティ助産学特論・1単位・1年・後期，コミュニティ助産学演習・2単位・1年・後期，ホリスティック助産学特論・1単位・1年・前期，ホリスティック助産学演習・2単位・1年・後期，マネジメント助産学特論・2単位・2年・前期，助産実践学Ⅰ（妊娠期）・2単位・1年・前期，助産学実践Ⅱ（分娩期）・4単位・1年・通年，助産学実践Ⅲ（産褥期）・2単位・1年・後期，助産学実習Ⅰ（外来ケア実習）・1単位・1年・前期，助産学実習Ⅱ（周産期ケア実習）・8単位・1～2年・後期，助産学実習Ⅲ（助産所実習・継続ケア実習）・2単位・2年・前期，助産学実習Ⅳ（ハイリスクケア実習）・1単位・2年・前期，助産学実習Ⅴ（マザークラス実習）・2単位・2年・後期，助産学課題研究・4単位・1～2年・通年

### 7. 社会貢献活動

- ・ COVID-19 ワクチン接種（2021.7-8）
- ・ 第4回マタニティサロンムーン（2021.9-10）
- ・ 母親と子どもを護る多職種の会講演会（2021.9-2022.1）
- ・ 福岡市委託事業「働くママとパパのマタニティスクール」（2021.5-2022.3）

### 8. 学外講義・講演

- ・ 福岡県立福岡女子商業高等学校（2021.6.9）

### 9. 附属研究所の活動等

- ・ ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員